



編集 慶徳会 広報室
〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29
電話 072-665-5165
FAX 072-665-5166

「華」60号の発刊を迎えて

この時代、「華」の発行は、5年間で不定期8回でしたが、その後、了貞理事長が往生されたことなどもあり、しばらく休刊となりました。

その当時、慶徳会は、創設者藤井教恵先生ご夫妻が年を追って往生され、相次ぎ大黒柱を失うという深刻な状況にありました。創刊号では法人全体の深い悲しみを伝えていますが、同時に、創設者ご夫妻が半世紀にわたって築かれた福祉事業の継承を熱く説かれています。

昭和54年といえば、初めて元号法が制定された年で、同法が適用された初めての天皇が上皇様であり、昨年そのお方から今上天皇に引き継がれ、元号も令和と改められたところです。その翌年に「華」は60号を迎え、時代の流れを感じるところです。

この間、「華」の創刊に自ら陣頭指揮をされた第二代理事長藤井了貞先生を初め、「華」発刊に尽力された方々のご功績に心から敬意を表します。

余、今号で60号を迎えました。



創刊号…了貞先生の熱い思いが伝わる創刊号

9号…5年ぶりに復刊した9号

20号…初めてのカラー紙面で

光華・春菊苑での餅つきの様子を紹介

慶徳会の行事紹介

30号…しみずの絵画展

40号…入進学卒業就職お祝い会

50号…西河原きもだめし大会

当初は、原稿は法人が執筆し、レイアウトと印刷は、業者に委ねていましたが、IT機器の普及に伴い、極力法人内で制作を進め、コピー機を活用した印刷も含め、完全自立は、平成21年からです。しかし、近年は業者印刷が法人内コピーより鮮明で、廉価であることから、業者委託としています。

この後、執筆を含め、発行には大勢の職員にご苦勞を頂いています。中でもIT機器を駆使した編集作業は、高度な技量とセンスが求められるので、限られた職員（現在は、常清の里の伊達正典副主任）に依存しています。今後は、ノウハウを学ぶ機会を増やし、少しでも多くの職員が携われるよう職員の皆さんの協力をお願いします。

その後、年2回発行となり、カラー版の登場は20号（同20年）からで、32号（同25年）以降は、年4回発行となつて、少し時期がずれても法人行事などを漏れなく広報出来るようになり、皆さんに楽しんで頂いています。

いつも温かいご支援ありがとうございます

ご寄付を頂戴した方々（敬称略・五十音順）

【平成31年3月～令和元年2月：職員を除く】

◎ 個人様

浅田武子 石堂満寿子 市村眞由美 入江弘 上原久美子
大西一夫 岡 功 岡村俊一 鎌田妙子 楠瀬八重子
メルケル小松 佐藤直樹 沢本まさを 坂岸謙一 澤田靖弘
柴田憲太郎 調 龍信 杉江正彦 住友浩子 高橋秀幸
徳永慶子 中根超信 西田 治 西野國輔 西山正人
畑 初恵 原田あつよ 春木和美 福尾剛志 福良眞智子
藤田雅外 船寺智恵子 前川 保 増井スミ子 松本久子
柳川榮子 山田 陽 大和美代子 吉井悦子 吉岡 巧
輪木恵子 和田好栄 渡邊芳子

◎ 団体様

秋岡・西代医院 朝倉歯科医院 (株)アサヒディード
(株)アピスファーマシー 税理士法人あらたす
茨木シニアそろばんクラブ 茨木ローズライオンズクラブ
茨木中央ロータリークラブ 茨木西ロータリークラブ
茨木東ロータリークラブ 茨木ローズライオンズクラブ 姥谷商店
MTI (一社)大阪電業協会経営委員会 大阪府子ども輝く未来基金
大阪教区仏教婦人会連盟 (福)大阪府社会福祉協議会
(福)大阪府共同募金会 (株)掛谷工務店 春日丘公民館
春日丘地区福祉委員会 勝部建設(株) 華陵会 北川整骨院
COCO(公財)クジラ・匠育英会 佐竹食品(株) 浄土真宗本願寺派
(有)サンセー商会 スナダ建設(株)
(福)全国社会福祉協議会全国経営者協議会 辰見医院
田中歯科クリニック トナミ電工(株) 中谷カルナー財団
(株)橋本工務店 (株)花廣 (株)Forit
福建省泰古健康産業有限公司 (株)北部市場運送 丸山鍼灸院
みつ澤 三菱ふそうトラック・バス(株) (株)みなと

いつもありがとうございます



緊張みなぎる囲碁真剣勝負（デイ）



ゴルフゲームに興ずるご利用者（デイ）

では、5年前に「多世代」事業としては、手探り状態で運営を始めさせて頂く中で、旧「老人福祉センター」時代からのご利用者のご理解・ご協力とともに、地域の皆様の大きなご支援の中、子どもさんやご両親を初め多世代の方々に少しづつセンターに馴染んで頂き、また、各種団体やボランティアの皆様にも絶大なご支援を頂戴して、お陰様で今年年間200を超えるイベントが開催できるまでになりました。これらの活動状況について市からもご評価頂き、引き続き指定管理の指定を受けたところで、

新年度は、センターの設置意義を改めて確認させて頂き、初心に戻って事業を見直しするとともに、多くの方々のお力添えのお陰で積み重ねることが出来た実績を生かしながら、センターが地域の皆様により一層親しまれる事業所として発展してまいりますよう職員一同気持ちも新たに致しております。

新年度に特に力点を置きたいと考えておりますのは、シニア世代のご協力を得てセンター事業のボランティア活動に取り組んで頂いている実績を尊重させて頂き、センターの活動をさらに拡充して、地域の皆様により身近な交流拠点としての役割を果たすことです。そのため、シニアプラザや他のセンター

では、5年前に「多世代」事業としては、手探り状態で運営を始めさせて頂く中で、旧「老人福祉センター」時代からのご利用者のご理解・ご協力とともに、地域の皆様の大きなご支援の中、子どもさんやご両親を初め多世代の方々に少しづつセンターに馴染んで頂き、また、各種団体やボランティアの皆様にも絶大なご支援を頂戴して、お陰様で今年年間200を超えるイベントが開催できるまでになりました。これらの活動状況について市からもご評価頂き、引き続き指定管理の指定を受けたところで、

新年度は、センターの設置意義を改めて確認させて頂き、初心に戻って事業を見直しするとともに、多くの方々のお力添えのお陰で積み重ねることが出来た実績を生かしながら、センターが地域の皆様により一層親しまれる事業所として発展してまいりますよう職員一同気持ちも新たに致しております。

新年度に特に力点を置きたいと考えておりますのは、シニア世代のご協力を得てセンター事業のボランティア活動に取り組んで頂いている実績を尊重させて頂き、センターの活動をさらに拡充して、地域の皆様により身近な交流拠点としての役割を果たすことです。そのため、シニアプラザや他のセンター

と今後一層、密接に連携し、これらの活動が地域で果たされている状況を地域の皆様到的に認識して頂けるよう、また、やりがいもって、ボランティア活動等に携わられることが健康維持に繋がることなどについての啓発にも努めてまいります。

加えて、子ども世代を対象とした事業として、社会的要請がさらに高まりつつある「子育て支援」について、居場所として、また、集い場や子どもの学習支援等を適切に行う場として、合わせてセンターとしての社会貢献活動も含めて、一層充実しに努めていきたいと考えております。

西河原デイ・多世代交流両センターの運営は、地域の皆様のご理解とご協力・ご支援を頂いてこそ適切に進めることが出来るものです。私達は、組織を挙げて皆様に信頼され、親しんで頂けるセンターに向けて努力を傾注してまいり所存ですので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



機能訓練に励む
ご利用者（デイ）



「ドリームフェスタ 子供の家2019」大盛会でした!!



幼児さん達が、のりのりで
ディズニードダンス

当日お越し下さったのは、子ども達の保護者は勿論、通っている学校や幼稚園の先生方、日頃から子供の家に支援・ご協力を頂いている方々など、フェスタ始まって以来の104名の皆さんにご来場頂き、子ども達の成長した姿を見てエールを送って下さいました。中でも今年は卒園生がとも大勢来てくれ、懐かしい顔触れと対面出来で、思い出話に花が咲きました。

例年とは異なる形になりましたが、アットホームな雰囲気でも子ども達の笑顔に溢れた思い出に残るドリームフェスタになりました。

ボウリングで深めた親睦!!

～職員互助会・3年ぶり～

令和初のお正月気分も和らいだ1月22日・23日に3年ぶりの互助会主催ボウリング大会を開催し、38名の会員に参加頂きました。

5レーンに分かれてゲームがスタートすると、それぞれ真剣な表情でボールを構えて力投し、倒したピン数に一喜一憂する皆さんのパフォーマンスに会場は一気に盛り上がりを見せました。

「ボウリングなんて何年もやってへんわー」と不安げに話していた人がいきなりストライクを出しときは、躍り上がるように喜び、皆さんとハイタッチをして意気が上がる一方、スベア狙いの自信の一球を外して残念そうに座り込んだり、ガータになって首を傾げながら戻ってく人など、日ごろ職場では見せない一面も発見できたりして、親睦を深めるひと時となりました。

普段は別々の事業所で仕事をしている職員同士が、お互いに長らく親しんでいるような打ち解けた雰囲気交流している姿は、日頃からご利用者にやさしく接している様子と重なり、慶徳会の職員の穏やかで好意的な面が改めて感じられた大会でした。

あっという間に2ゲームが終了し、1班目の1位は真華苑藤本さんで277点で優勝、2位が静華苑Gの永野さん、3位が静華苑Gの八田さんでした。また、2班目の1位は春菊苑の坪田さんが342点で優勝、2位が子供の家の西井さん、3位が常清の里の阪本さんで、両日で10名の方が賞を受けました。

参加頂いた会員の皆さんお疲れさまでした。また、大会に協力頂いた皆さん有難うございました。



フェスタ史上最大の参加者で
にぎわったドリームフェスタ

ボランティア紹介 「エル・ヴィエント」様

「エル・ヴィエント」様は、間宮重樹さん（ハーモニカとギター）、宮本由美子さん（フルート、歌、沖縄の弦楽器三線（さんしん））、そして平石隆志さんと奥様（歌）の4人で活動されています。各種イベントや福祉施設などでこれまでに茨木市を中心に600回を超える活動をされ、慶徳会でも常清の里をはじめ、静華苑や西河原福祉・交流センターで演奏会を開いて頂いています。

楽器の演奏と歌の披露のみではなく、プロジェクターに歌詞を映し参加している人全員が「歌い・楽しむ」ことを大切にされていますので、会場全体が一つになって音楽を楽しむ、素晴らしいひと時に頂いています。そして、司会を務める平石様が語り掛けるように曲の間をつなぎ、とても心地の良いそよ風が吹くような時間が過ぎていきます。

今後も、一層のご活躍をお祈り致しますとともに、慶徳会各事業所での演奏会も一同とても楽しみにしております。



写真左から
平石様の奥さん
宮本さん
間宮さん
平石さん

4月から事業を新展開！！

～西河原福祉・交流センター～

一、新年度からの事業展開

西河原福祉・交流センターの老人デイサービスセンター（西河原デイ）は、平成10年の創設以来続いておりました茨木市の事業から、令和2年4月以降、慶徳会の自主事業として新たな展開を迎え、多目的交流センターは、引き続き同市の指定管理者制度2期目となる指定を受けることになりました。



地域の方々が百人一首で
多世代交流（多世代センター）

二、西河原デイ

西河原デイにつきましては、開所以来20年余にわたって運営を担わせて頂き、これまで多くの地域の皆様にご利用下さっていますが、このたびを節目に法人の自主事業としての主体性をより一層発揮し、改めて、ご利用者の皆様に西河原デイに通って頂いて本当に良かったと感じて頂ける事業所を目指し、スタッフ一同精一杯頑張つてまいる所存です。

西河原デイでは安心して楽しんでご利用頂けるセンターとして、まず、入浴サービスでは、衛生面に行き届いた大型入浴設備を完備し、介護職員が必要に応じて適切に介助させて頂きますので、ゆつ



「介護予防教室」で1時間
たっぷり汗を流します（多世代センター）

たりとおくつろぎ願って、身体の隅々まで温まって頂き、また、お食事は、センター内の厨房で手作りの心のこもった調理により提供させて頂いておりますので、お客様で「西河原デイの昼食は、とても美味しい」との評判を頂戴しております。

リクレーションにつきましては、多くのボランティアの方々にもご協力を頂き、ご利用者の皆様に心から楽しんで頂けるメニューを用意致しておりますし、趣味の書道や手芸などの時間も用意させて頂いております。

また、西河原デイが特に力を入れておりますのは、近年益々皆様の関心が高まっております、機能訓練活動で、看護師や鍼灸師により、毎日お一人おひとりに機能訓練を実施し、さらに筋力維持・向上をご希望される方には、介護予防運動指導員のアドバイスにより、多種の介護予防運動機器を活用した訓練も実施致しており、大勢の方に機器を愛用して頂いております。

そのほか、折々の季節に因んだ行事やお花見などセンター近辺の散策、そして



やわらかいボールで
節分の豆まき大会（多世代センター）



缶ころがしゲームを
楽しむご利用者（デイ）

令和になって初めてのお正月7日に、伝統行事の新年互礼会と新春ゲーム大会を常観堂と慶昌堂で開催しました。

今年の参加者は、法人事業所で利用のシニア世代41名、子ども達38名にスタッフを併せて130名と例年以上の賑わいで新春の幕開けにふさわしい大会になりました。



「坊主」でなくてよかった！

いに笑顔で譲りあう場面がみられるなど、慶徳会ならではの心温まる一幕もありました。

競技の結果は、激戦の末、シニアの部は、「真華苑」の増井スミ子さんが初優勝、ジュニアの部が「子供の家」Sさんが見事に連続優勝をかちとりました。

また、近年すっかり定着した「坊主めくり」もゲームが進むにつれ、大きな歓声が上がするなど、とても楽しいひと時となりました。

締め括りの全員参加の「〇×ゲーム」では、永野有洋ききよう管理者が出題役で、例年と比べて超難解（珍問題？）なクイズに、会場は大

令和初の新年 「互礼会・ゲーム大会を開催



ゲーム大会は、吉川洋子相談支援室統括主任の総合司会により進行し、百人一首には27名、坊主めくりには52名の参加がありました。

百人一首の読み手は、佐伯卓哉めぐみの里主任で、白熱した競技が繰り広げられましたが、取る手が同時の時は高齢者と子どもが互

盛り上りでした。

今年も法人内事業所のご利用者の皆さんの、深い交流と大賑わいの中、大会は幕を閉じましたが、今年も皆様にとって、穏やかで実りある一年になることを願っております。

茨木市の委託事業「茨木市認知症地域支援・ケア向上事業」による『介護保険施設等での認知症対応力向上支援』として、12月13日（金）18時30分から常清の里で社会福祉法人 由寿会・認知症相談支援研修センター「結」の石川進先生を講師としてお招きし、



熱心に聴講する職員など

「ケアスタッフのための認知症講座」

参加がありました。『メタ認知』とは自分自身の認知行動を正しく知る心理的能力であり、「相手の立場にたつて自分の問題として捉える」「自分ならどのような対応が安楽で心地よいのか当事者立場になつて考える」等、職員目線では

ケアをしてしまいがちな状況を、視点を切り替えて丁寧なケアを改めて考えていくという内容であり、石川先生の映像を効果的に使ったユーモアたっぷりのお話しは大変わかりやすく、認知症の方をケアするスタッフにとっては大変有意義な講座でした。また研修後のアンケートでも、「自分の業務を振り返りながら、自分を見つめ直す貴重な時間となった。」「ご利用者目線の大切さを改めて実感しました。」「介護職であることに少し誇らしく思える時間があった。」等の意見が寄せられました。

この度の研修を通じて、やりがいを感じながら前向きにケアに取り組んでいき、認知症の方が安心して過ごすことができる環境づくりに努めていきたいと思っております。

「しみず」の運営改革について

組織整備とスキルアップ等

昨年3月に、「しみず」ショートステイご利用者がお亡くなりになる事故が発生致しました。職員一同深い悲しみに包まれ、大切なご家族を亡くされたお悲しみは、いかばかりかと存じ、哀悼の気持ちで一杯です。また、多くのご利用者、ご家族及び関係機関・団体の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

に沿って取組を進めてまいりますが、提言に至るまで、検討委員会から提起される課題などについて、職員全員の意見が吸収できる仕組みを作り、調査・研究・意見交換等を徹底して行つた上で、委員会に報告することに努めましたので、「しみず」全職員の総意に基づく提言とも言えるものです。

昨年3月に、「しみず」ショートステイご利用者がお亡くなりになる事故が発生致しました。職員一同深い悲しみに包まれ、大切なご家族を亡くされたお悲しみは、いかばかりかと存じ、哀悼の気持ちで一杯です。また、多くのご利用者、ご家族及び関係機関・団体の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

二、「虐待防止委員会」の設置

年明けの1月29日に、第三者委員にも入つて頂いて、提言の核となる「虐待防止委員会」（防止委員会）を設置し、第1回目の会議を開き、検討委員会の提言を踏まえた方針が決定されました。防止委員会で決定されたことは次のとおりです。

1 「倫理綱領」及び「職員行動指針」の制定と職員間での共有

権利侵害を許さない事業所とするためには、職員一人ひとりが日ごろの支援をチエックし、小さな出来事から虐待の芽を摘むことが重要です。そのための意識付けを行うものとしての「倫理綱

和柄のフレームの写真は、お一人おひとりの障がい特性の理解のもと、統一した支援を行つて
いる日々の活動の様態です。

三、取組を進めるにあたって

あるものの、骨格として不十分であつたり、効果的な研修という観点で十分な対応ができていないこと、あるいは、アセスメントが不十分で、必要なスキルを十分に身に付けているとは言えない面があるので、それらを十全にする研修の充実に努めます。

防止委員会で決定した方針及び取組について、次のことに留意して事業を進めます。

- ① 個々の障がい特性を理解し統一した支援を行うことが出来るよう、職員間のコミュニケーションに重点を置きます。
- ② 職員間の「連携」と「情報の共有」がよりスムーズに行えるよう、アセスメントの強化や外部のスーパーバイザーによる研修等を行います。
- ③ 適時的に「しみず」の取組についてお知らせすること等、
- ④ 「事業の見える化」にも取組みます。

障がいのある方の地域生活を支える事業所の一つとして、ご利用者も職員も輝ける場となるように、職員が一丸となつて、頑張りますので、今後とも「しみず」をよろしくお願い申し上げます。



審議に熱の入る
虐待防止委員会のメンバー



牛乳パックから紙すきで再生紙作成



ペットボトルに色とりどりのビーズを
入れてスノードーム作り



音楽療法のパーカッションで
「ドラマー」気分



筆ペンで「書初め」をしました。



音楽療法で曲に合わせて
演奏を楽しみます。



どんな具材をいれようかなあ
＝のり巻き作り＝



グループワークで
大切なことを確認しました。